

野菜

小2

の作り方を教えてもらったよ！



2年生は野菜づくりに挑戦しました。それぞれ自分の植木鉢にはプチトマトを、畑にはナスやキュウリなどの夏野菜を植えました。指導をお世話になったのは、知井で農業をされている澤田利通さんです。土の入れ方からひとつひとつ丁寧に教えていただきました。水やりなどの世話の仕方も教わって収穫まで自分たちで育てていきます。

わたしたちのまちをたんけん

また別の日には、自分たちのまちをよりよく知るために、学校周辺の施設を見学に行きました。南丹市役所美山支所、南丹市営バス美山事務所、美山郵便局、美山町森林組合の4カ所です。普段の生活では、子どもたちだけで行く機会の少ないところばかりでしたが、実は生活を支える大切な役割を果たしていることを知りました。



復活！

サ

小6

テライト教室～旧鶴ヶ岡小学校～

6年生の総合的な学習の時間に、美山町内の旧小学校で地域の方と一緒に学習するサテライト教室を開催しました。今回は、旧鶴ヶ岡小学校を使って、美山の歴史を深掘りします。とはいえ、美山に戦国時代の有名な武士はいるのか？そもそも歴史とは？美山の昔を自分たちで探る中、鯖街道というキーワードを見つけた6年生は、鶴ヶ



岡の小畑さんにお話を聞くことにしました。若狭・小浜から京の都まで、さまざまな文化の営みにつながる物資が運ばれていたお話などを聞き、美山を通る街道が日本の歴史を支えていたのかも知れないと、思いをはせることができました。美山にはまだまだ知らない歴史がたくさんあります。今後も地域の方に教えていただきながら、学びを深めていきます。



芦生の

森

小4

グリーンワールドへ



4年生の芦生の森グリーンワールドの体験内容は、芦生もりびと協会、芦生山の家、京都大学芦生研究林といった多くの地域の方々とともに、計画段階から一緒になって作り上げています。この日の気付きや発見、体験が、子どもたちのこれからの学びにどんな風につながっていくのか、考えながら活動につなげています。

美山に住んでいながら芦生の森に入るのが初めての子どもたち

も多く、普段から自然に多く囲まれているとはいえ、自然の中にどっぷり入ってガイドの案内で森を歩く機会は貴重です。

ガイドをお世話になったのは、芦生もりびと協会の前田さんと岡さん、京都大学芦生研究林の北川さんです。活動の最後にはそれぞれのグループごとに気付いたことや気になったことが異なり、それを交流しました。今後も一緒に子どもたちの学びを見守って行きます。





3年生はかやぶきの里へ見学に行き、民族資料館の中野さんに案内いただき、かやぶきの里を守りながら暮らすことの大切さなど、実際に暮らす人たちの話をうかがいました。その日は一斉放水による放水銃の点検作業があり、多くの観光客と一緒に見学しました。テレビの取材を受けたり、海外からの観光客とも交流したり、多くの人々が美山を訪れていることを知りました。

また、別の日には美山茅葺から職人の小林さんと弘中さんにおこしいたいただき、日本や世界のかやぶき民家について話をうかがいました。そのあとで、体育館で屋根葺き作業の体験をしました。かやぶき民家やススキは身近にあるけれど、実際にススキを使った葺き替え作業を見る機会は多くありません。自分たちの手で屋根葺き体験をしてみて、より魅力が分かった気がします。



きせつのかざりを作ったよ！たなばた

ススキ
小1

のフクロウ



1年生は季節ごとに、かざりを作ったりしながら楽しんでいます。夏には、「手芸ボランティアほのぼの」の山中さん、岡本さん、村田さんにおこしいたいただき、いろんな種類の七夕かざりを一緒に作りました。丁寧にひとつひとつ教えていただきながら作業して、最後には子どもたちに囲まれ大人気のほのぼのさんでした。

秋には、ススキを使ってフクロウづくりに取り組みました。坂本さんと細尾さんに教えていただいて、2人ずつペアになって助け合いながら作りました。たなばたかざりも、フクロウもそれぞれに苦手な作業はありましたが、楽しみながら取り組みことができました。



米
小5

づくりを知る！まずは田植えから草取り、そして稲刈り脱穀まで！

5年生は社会科で農業について学習します。総合的な学習の時間には美山の農業についてより深く学ぶため、実際に米づくりに取り組みます。農家の寺井さん、和泉の中島さんから、現在の美山の農業の課題や、昔の農業がコミュニティを作る手段として、食以外でも地域や人々の暮らしを支える意味があったことなど、お話を聞きました。



今年は、田植えから草取り、稲刈り脱穀までの行程をひと通り経験しました。

田植えはみんなで息を合わせて、きれいに一列に並んでひとさしひとさし心を込めて植えました。さらに別の日には、草取りの作業にも取り組みました。米づくりは苗を植えただけでは終わりません。例年は田植えのあと、稲刈りまでは地域の方にお任せしっぱなしになってしまいましたが、今年は草取りの作業をすることで、雑草を取り除くことの大切さはもちろん、土に空気を含ませることで、よりよく育つことも教えていただきました。

秋には稲刈りをして稲木干しにし、さらには脱穀作業まで自分たちの手で取り組みました。ひと通り経験し、農作業のひとつひとつの行程の大切さを知りました。



ホームページでは学校の様子を公開中です！美山学の取組についても紹介しています⇒

